

阪神

■ 阪神総局
 〒662-0971
 西宮市和上町6-25
 TEL: 0798-33-5541
 FAX: 0798-23-0302
 e-mail
 hanshin
 @kobe-np.co.jp

■ 本社報道部
 〒650-8571
 神戸市中央区
 東川崎町1-5-7
 TEL: 078-362-7040
 FAX: 078-360-5501
 e-mail
 houdou@kobe-np.co.jp

■ 映像写真部
 TEL: 078-362-7047
 FAX: 078-360-5508
 e-mail
 photo@kobe-np.co.jp

火事や事故の速報、写真、映像提供、身近な話題、生活情報を上記へご連絡ください

きょうの天気

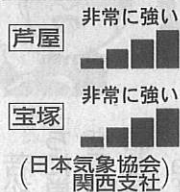
芦屋	宝塚
☉ ☀	☉ ☀
☉ ☀	☉ ☀
☉ ☆	☉ ☆
26	27
17	16
気温	気温

あすの天気

☁	☁
50	50

○数字は降水確率
 → のち
 / 一時
 // 時々

紫外線(23日)



利用者の自宅を訪ね、インターホンを押す。気持ちのスイッチが入る瞬間だ。食事作りに掃除、子どもの世話、病院の付き添い…。家事や育児をたった一人で背負い込む「ひとり親」の家事をサポートし、心と生活の歯車がうまく回るよう支援している。

ひとり親の抱える事情はさまざま。経済的な不安、育児の悩み、多忙、精神的な不調。頼れる相手がおらず、多くは

NPO法人「ア・リトル」

事務局長

ひと探訪

やまと 大和
 ようこ 陽子さん (西宮市)



ひとり親の家事支援 孤立救う

孤立している。張り詰めた気持ちを家事サポートで和らげ、行政や支援団体、そして「人の輪」に結びつける。

「ケアを届け、地域につなげるのが私たちの役割。ひとり親の負担を少しでも減らし、安心させてあげたい」
 大阪市出身。大学を出て芦屋市の会社に勤めた後、25歳で東京へ出た。結婚し、2児を出産。フリーで園芸の仕事をしていたところ東日本大震災が起きた。余震や原発事故の影響におびえる生活が続ぎ、1年間悩んだ末に、友人のいる西宮に家族で転居した。

東京で妊娠を機に退職を迫られた経験から、次に働くなら「雇われるのではなく、仲間と仕事を生み出し、女性が自分らしく生きられる場にしたいかった」。

もともと関心の深かった「食の安全」

「自然な育児」のグループになつた。目に向ける友人が増えた。仲間と5人で2015年に設立

「a little ア・リトル」産前産後の家事サポートや子育て講座などを展開道に乗る一方、ひとり親の利口った。「SOSも出せないほいるのでは」。20年度から公認得て、ひとり親支援にも踏み

「気持ちに余裕ができ、子どもが利用されるようになった」。ぼつりと利用者れるときがある。心がほどけれがやりがいだ。47歳。
 (記事・山岸洋介、写真・文)

ひとり親の家事サポートは21年度、助成金で実施するため、利用者の負担は登録料千円のみ。週1回2時間で計12回(3カ月)。西宮市在住で高校生以下の子がいる家庭が対象。先着15組。ア・リトル